

会 議 録

会議の名称	第10回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成29年11月 2日(木) 午後7時00分～9時00分
開催場所	戸田市役所 501会議室
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治 ○□ 横山 誠 ■ 宮崎 快</p> <p>■ 千葉 修平 □ 西久保 裕康 □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 丸山 利男 □ 播 義也 □ 市川 悦夫</p> <p>□ 武内 利行 ■ 菅原 光正 □ 岡本 莉奈</p> <p>■ 伊藤 寛幸 □ 遠藤 英樹 ■ 細田 昌孝</p> <p>■ 川上 実雪 ■ 廣井 佑磨 □ 松下 啓一</p> <p style="text-align: right;">(◎委員長 ○副委員長)</p> <p style="text-align: right;">(□出席 ■欠席)</p>
事務局	後藤課長 石原主幹 元谷主事
議 題	<p>1 答申書(案)について</p> <p>2 平成29年度自治基本条例フォーラムについて</p> <p>3 その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<p>1 第10回会議資料</p> <p>2 別紙 答申書(案)</p>
議事録確定	<p>平成 29年 11月 22日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山宣治</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 答申書(案)について</p> <p>第10回会議資料に基づき以下の内容について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市長からの諮問内容・ 市長への答申日(予定)・ 委員から出された意見について(P2~4)・ 答申書(案)の内容について(別紙) <p>「条例の運用に関する事」「条例の普及及び啓発に関する事」については、委員から出た意見をまとめ、今後も継続した取り組みが必要である、といった方向でまとめている。</p> <p>「条例の見直しに関する事」については、見直しが必要であるという意見が2件出されてはいるものの、今回の答申では、次期以降に改めてこの2件の意見を含め条例全般の見直しについて検討する機会を設ける旨の記載にしている。</p>
委員長	議題(1)について、答申書(案)の内容について質疑等ないか。
委員	「条例の見直しに関する事」の中で、「一部の条項において」と記載があるが、これが何条なのか、具体的に記載しないと答申書を受け取る市長には伝わらないのではないか。
事務局	<p>本委員会でのやり取りについては、毎回議事録という形で市長が確認し、細かい部分も把握しているため、現段階では詳細について記載しない方向で考えている。しかし、委員会の審議結果として詳細を記載したほうが良いということであれば対応したい。</p> <p>また、今日の委員会で答申書の内容をすべて確認いただくのは難しいと考えている。欠席委員も何名かいることから、その方々も含めて改めて意見をいただき、それを反映させたいという最終案を作りたいと考えている。答申書の最終確定は委員長と副委員長に一任という形を想定している。</p>

委員	<p>今の状態で後日意見を出す形になると、様々な意見が出てしまい、まとめるのが難しいのではないかと。せっかく委員が集まっているので、今日の委員会の中で大まかな方向性は決めたほうが良いと思う。そのうえで、細かい文章の微調整等を委員長と副委員長、事務局にお願いできれば良い。</p>
委員長	<p>それでは、今日の委員会で、ある程度方向性を固めようと思うが意見等ないか。</p>
委員	<p>「現段階では条例の見直しは必要ない」という答申案を理解、納得した上で意見を述べたい。</p> <p>自治基本条例は誰と誰の関係の条例かという点、主権者である戸田市の市民と、議会、行政の三者であると考えている。その構成にかかわりのない、市内に通勤、通学する市外の人には戸田市の主権者ではない。さらに市民の義務である納税、公選された議会と行政の受容、法の尊重、児童虐待等の通報義務などを果たしていない者は市民とは呼べない。上述のように、明らかに市民ではない者に、この貴重な条例を使わせるわけにはいかないと考える。</p> <p>自治基本条例の「市民の定義」によれば、戸田市に住んでいなくても市内で活動をしていれば誰でも戸田市民と名乗ることができる。自治とは住民自治ということである。住民ではない者が自治の主体になるのはおかしい。住民以外の者を市民に含めると、条例の法的整合性が保てない。第二期の推進委員会で条例の見直しが議題にあがったときには、また意見を述べたいと思う。</p>
事務局	<p>指摘のあった「市民の定義」について、事務局の見解を述べたい。</p> <p>条例の制定過程としては、みんなでまちづくりをしていこう、という考えのもと、市民会議やワーキンググループを経て条例制定に至っている。その中で、市民をどこの範囲まで定義付けするのかについては、何度も議論を重ねて今の形になっている。戸田を応援してくれる人も自治基本条例上の市民にとらえ、市民・議会・行政がともにまちづくりをしていこうという思いを持った条例であると認識している。</p> <p>地方自治法上の市民とは異なるが、自治基本条例上では、戸田をより良くしようと動いてくれる人も市民にとらえようという思いを込めて定義をしている。一方で、住民投票の対象となる市民には自治基本条例上の市民がそのまま当てはまらないと考えている。住民投票の実施に当たっては、詳細を別途条例で定め、市議会の議決を経て決定に至るものであるため、直ちに自治基本条例上の市民に投票権が与えられるものではない。</p>
委員	<p>条例制定の過程で定められた思いは分かるが、一般市民が条文を読むだけではその思いは伝わらない。他市の人で条文だけを見て、自身が自治基本条例上の市民だからと主張し、与えられた権利を悪用する恐れもあるのではないかと。</p>

委員	<p>条例制定に関わってきたので、少し話を整理したい。</p> <p>前提として、地方自治法上の住民は住所登録をしている人になる。そのため、外国人も含まれるが、その住民は皆、住民監査請求権などの権利を持っている。</p> <p>それを踏まえ、自治基本条例を作る際に、まず戸田の現状について考えた。13万人の市民のうち6万人が仕事をしており、そのうち市内で働いている人が2万人、市外で働いている人が4万人、代わりに市外から働きに来ている人が3万8千人である。つまり、戸田は人の移動がとて大きいまち、ということである。そんな戸田では、災害や防犯など様々な分野において、市内に住んでいる住民だけではまちを維持することができないのが現実である。そこで、市外から市内に働きに来ている人達にもまちの当事者として関わってもらおうと考えた。条例の制定に当たっては、このような経緯がある。</p>
委員	<p>現状のグローバルな社会を見ると、例えば戸田に住んでいた人が外国に移り住んだとしても、戸田をふるさととってくれる、戸田を良くしていこうという思いがあり、何かしらの形で戸田に関わりを持った人であれば、たとえ今現在戸田市内に住んでいなくても、それを受け入れる寛容性があっても良いと思う。排他的であってはならない。このような交流の中で様々な人の意見を取り入れて、自分たちの暮らしに生かしていく、理念や方向性を模索し、提言をしていく。様々な市民を我々委員会が理解していくという観点が必要であると思う。</p>
委員	<p>戸田の自治基本条例では、誰でも良いということではなく、あくまで戸田の為に何かしらの形で活動してくれている人達を含めてまちづくりをしていこうという考えを持っている。</p>
委員	<p>指摘のあったように、条例は生み出されてしまえば後は条文からしか見えない部分がある。そのために、「協議の足あと」を加えているが、そこに込められた理念や思いも含めて浸透させなければならない。それについても、今後は考えていくべきだと思っている。</p>
委員	<p>この「協議の足あと」を加えたものは誰でも見ることができるのか。</p>
事務局	<p>市のホームページや窓口に配架して、市民も見ることができるようにしている。</p>
委員	<p>条例について詳しく知らない市民には条文だけでしか伝わらない。住民でない人も市民になれるのは危険ではないか。</p>
委員	<p>危険だという指摘があるが、具体的にはどのような事態が想定されるのだろうか。</p>

委員	戸田市では当てはまらないが、他の自治体では自治基本条例で住民投票の内容にも踏み込んでいるものもある。その場合は危険性が伴うのではないか。戸田市の自治基本条例も、住民投票の項目が改正されると危険性が無いとは限らない。
委員	住民投票は住民にしか投票権が与えられないため、その点で危険性はないと考える。人口が数百人の小さな町であれば場合によっては何かしらの危険性が想定されるかもしれないが、現状の戸田市ではあまり考えられない。
委員	市民は条例の存在は知っていても、仕事等でなかなか実際の行動には移せないのが現状であると思う。それができるのは、条例を悪用しようとする団体などであるため、そのような団体が条例を悪用しないとも限らない。
委員	住民投票に関していうと、市外から来た人が戸田市の住民を煽ることで、住民投票を実施させる、という危険性は考えられる。条文の受け取り方は読んだ人の感覚によって異なるので、その面は危険性はあると言える。
委員	条文の受け取り方等、配慮が必要な点はあるとしても、戸田市の実情を見ると市内に働きに来ている人をはじめとする戸田市に関わる人を無視してまちづくりを進めていくことはできない。通勤、通学している人も含めてまちづくりに取り組んでいければ良いと考えている。
委員長	<p>皆様から様々な意見をいただいた。市民の定義など、様々な考え方があると思うが、現状の答申書案をもとに進めていきたい。ただ、委員数人から懸念事項が挙げられていることから、継続して検討していく旨の記載は明記しようと考えている。細かい文言の修正は、委員長、副委員長、事務局で調整をしていきたい。</p> <p>《異議なし》</p>
事務局	<p><u>(2) 平成29年度自治基本条例フォーラムについて</u></p> <p>第10回会議資料に基づき説明</p> <p>前回までの委員会で決まった内容、出された意見について資料のP5にまとめた。</p> <p>訂正が1点。前回の委員会で、成人式の事前案内にチラシを同封できる旨の説明をしたが、担当課に確認したところ、同封できるのは事前案内ではなく成人式当日の配布物とのことであった。</p>

<p>委員長</p>	<p>また、「はたちの集い実行委員会」はすでに発足しており、残りの会議は11～12月の間に3回予定されている。</p> <p>今回の委員会では、「開催日時」「会場」「テーマ」について確定をしてほしい。</p> <p>まず日程について、事務局から1月20日（土）と1月27日（土）の2つの案が提示されているが、委員の中で希望日など意見はあるか。</p> <p>《意見等なし》</p>
<p>委員長</p>	<p>特に意見等が無いようなので、1月27日（土）で時間は前回同様午後2時開始ということで提案しようと思うがいかがか。</p> <p>《異議なし》</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて会場について、これまで市役所の大会議室やあいパル、さくらパルなど、様々な意見が出されてきたが、駐車場の確保や参加者の利便性、準備のしやすさ等を考えると、市役所の大会議室が良いと思うがいかがか。</p> <p>《異議なし》</p>
<p>委員長</p>	<p>これで、開催日時、会場については、1月27日（土）14時開始、会場は市役所大会議室に決定した。</p> <p>次に「テーマ」について審議したい。資料にあるとおり、これまで出された意見をもとに決めていきたいと考えているが、何か意見等はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>漠然と「若者」と言っているが、高校生議会に参加しているような学生はまちづくりに対する意識が高いのではないか。</p> <p>以前「戸田市政策研究所」が実施したアンケート調査の結果を見たが、戸田に住む若者が持つ、まちに対する愛着は他の自治体に比べて高い数字が出ていたようだ。そこをうまく活用していきたい。</p> <p>また、このようなフォーラムは個人的に市議会議員や青年会議所、町会・自治会の皆さんの出番だと思っている。行政職員も含め、そういった方々と一緒にまちの未来について考える機会にできれば良い。</p> <p>ちなみに、市議会議員の皆さんにフォーラムへの参加や協力をお願いすることは可能だろうか。</p>
<p>委員</p>	<p>日程が調整できれば市議会として協力させていただけると考える。ただ、テーマや役割など、具体的なものを提示できると市議会としても動きやすいと思う。</p>

委員	<p>条例制定の過程で、ある町会に話をしたことがある。その際、「絵に描いた餅にならないか」という意見をいただいた。そうならない為に、市民、議会、行政が本気で取り組んでいく必要があると感じている。</p>
委員	<p>若者に、戸田に対する意見や、住み続けたいと思うまち、について考えを聞くのはどうか。</p> <p>若者が思う、「住み続けたいまち戸田」とすれば、議会や行政も今後の取り組みにつなげることができると思う。</p>
委員	<p>成人式や高校生議会との連携を考えていると思うが、そもそも「高校生議会」の参加者はどのように集めているのか。</p>
委員	<p>市議会から市内の高等学校2校（南稜高等学校・戸田翔陽高等学校）に直接依頼をして、参加者を募ってもらっている。</p>
委員	<p>「はたちの集い実行委員会」や市内の学校にも働きかける、とあるが、参加を呼びかける程度なのか、一緒に企画等をしてもらうのか、どちらを想定しているのか。</p>
事務局	<p>事務局としては、チラシを配布するなどして参加を呼びかける方法を想定している。</p>
委員	<p>戸田翔陽高等学校はボランティア等で単位取得できるはずなので、市のイベント等の参加についても積極的にやってもらえるのではないかな。</p>
事務局	<p>確認したい点の一つ。前回までは若者が興味を持つテーマを設定し、そこにどうやって参加してもらうか、という方向性で議論をしていたと思うが、本日の議論では、若者が持っているまちに対する意見を聞くために若者を動員してフォーラムの中でも何か役割を与えるような内容になっている。</p> <p>事務局から各関係機関に協力を呼びかけるにあたって、そのあたりが明確であれば働きかけの方法も変わってくるがいかがかな。</p>
委員	<p>若者の話を聞くだけでなく、そこで出た意見をまちづくりや市の施策につなげなくてはならないと思う。</p>
事務局	<p>学校等への働きかけについて、人数の確約はできないが、各学校長への働きかけはしたいと考えている。</p> <p>「はたちの集い実行委員会」については、担当部署と調整し、会議の場に出向いてフォーラムのPRをすることは可能、という回答はもらっている。ただ、現時点でフォーラムの内容が決まっていないため、決まり次第、委員長、副委員長とともにPRに行ければよいと思う。</p>

委員	「はたちの集い」の実行委員から、その友人など他の若者に広めてもらえれば良いと思う。また、成人式の会場で実行委員長などから直接フォーラムのPRをしてくれると良い。
委員	参加人数としては、若者が20人くらい参加してくれればフォーラムとしては一つの成功といえる。ただ、大切なのは、人を集めることよりも、「出された良い意見を次につなげること」や「参加者の中から熱意、思いのある人を見つけること」だと思う。
委員	いずれにしても、フォーラムで何をするのか決めなければ、周知等、準備の進め方も決められない。
委員長	フォーラムのタイトルで考案したものがあるので、叩き台としてもらえればと思う。 「住みよいまち戸田へ ～地域参加とコミュニティ～」 「地域社会と就職活動」
委員	就職活動と関連して、地元への就職を促進することを目的に「高校生議会」を実施している自治体もある。就職活動もまちづくりのテーマになりうると思う。
委員	地元の企業が元気になることもまちづくりの一つだと思う。
委員	皆さんが「戸田の若者に何を期待しているのか」それをもとにテーマ等を考えていければ良いと思う。 例えば、町会として「若者にこうしてほしい」というものはあるか。
委員	若者参加のために、複数町会合同で祭りを開催するなど、イベント等も趣向を凝らして様々な取り組みを行っているはずである。 祭りや神輿といったテーマがあると、普段会った事のない若者たちが参加してくれる。そうすると、ベテランの町会員が若者に祭りの歴史などを教える、というつながりができる。
委員	我々の世代（20代前半）は就職活動やこれからの将来の事について興味を持ち、悩みも持っている。ただ、現状ではそのような思いは親にしか聞けない。親以外の様々な方の話を聞けるのは良いと思う。
委員	若者の中には市の施策を知らない人が少ないと思う。このフォーラムをきっかけに市の施策等を知ってもらえれば良いと思う。
委員	社会問題にもなっているが、これから若者に様々な面で負担がかかっていくのは間違いない。若い世代にできるだけ負担を回さないまちづくりをするためにどうすればよいのか、という考えのもと自治基本条例の制定に関わった方もいた。これからは行政の取り組みだけでは

	<p>まちづくりは成り立たないのが実際のところである。そのなかで戸田をより良いまちにするために何が必要なのか、具体的な指標を提示できれば良いと思う。</p>
委員	<p>消滅可能性都市である愛知県の新城市では、自治基本条例の取り組みの中で、若者政策を実践し、若者の出番を作っている。具体的には「若者議会」を実施する中で若者に1千万円の予算要求権を与えている。若者を当事者にするためにはどうすれば良いか、という視点で若者の出番を作っていくことが必要である。</p> <p>まちや行政、議会、町会・自治会等に対して若者が持っている思いを聞き、若者がまちに関わっていく際の課題を取り上げていく。若者との接点を作ることが大切である。</p>
委員	<p>フォーラムの進め方を工夫する必要がある。前回のフォーラムのような進め方だと具体的な若者の出番が無いように思う。若者の話を聞く場面設定や、若者を呼んだ明確な意図が無ければ次につながらない。若者に「この大人達と一緒にまちづくりに取り組んでいきたい」と思わせなくてはならない。</p>
委員	<p>ディスカッションの際は、我々委員がファシリテーターとして動く必要がある。</p>
事務局	<p>若者の意見や生の声を聞く、ということであれば、前回のようない百人近くが集まらなくても、フォーラムの中で出た意見を委員会に吸い上げ、次につなげられると思う。動員ではないが、高校生、市職員、市議会議員等、それぞれの分野からある程度の人数を集めることができれば、ディスカッションの内容が濃くなるのではないかな。</p>
委員	<p>市職員や市議会議員、町会・自治会、企業等の様々な分野の人がいれば、若者も参加してくれるのではないかな。</p>
事務局	<p>それに加えて、青年会議所や商工会青年部の方などが参加してくれれば、若者が得るものも大きくなると思う。</p>
委員	<p>私の思いとしては、今の若者が何を思い、何に悩んでいるのかを知りたい。若者のその思いを市政の中でどう具体化していくのか、発展的につながっていくと良い。若者が来てよかったと思い、自身が言ったことを行政や議会がどう受け取ってくれたかを感じ、これからも関わっていきたいと思ってもらえるようなフォーラムにできれば良いと思う。率直に自分の思いを語り、その中でお互いの関わりを模索していくのが良いと思う。</p>
委員	<p>仰る通りだと思う。そこで委員会の役割としては、フォーラムで出た意見をどう施策につなげていくのか、考えられれば良い。</p>

委員	<p>ここまで、若者の意見を聞き、それをもとにディスカッションするという内容が出ていると思うが、個人的には若者に話をしてもらうのではなく、若者に危機感を持たせるような講演をしてもらうのはどうかと考えている。これから待ち受けている苦しい時代について若者に目の当たりにしてもらう必要もあるのではないか。</p>
事務局	<p>提案いただいた内容をまちづくりにどのようにつなげていくのか、その視点が必要であり、重要であると思う。</p>
委員	<p>どうやって次の世代にバトンタッチしていくべきか、考える必要がある。それがこの委員会の役割であり、条例の意義であると思う。</p> <p>テーマについて、様々な意見が出てきた。ここではまとめきれないと思うので、委員長、副委員長、事務局で練ってもらえれば良いのではないか。</p>
委員長	<p>それでは、これまでにいただいた意見をもとに、委員長、副委員長、事務局とで詳細を練っていく形で良いか。</p> <p>《異議なし》</p>
事務局	<p>テーマについては、これから周知などを進めていく中で、方向性が分かれば良いのではないか。</p> <p>全体の方向性としては、若者を呼び、まちに対する思いをはじめとする若者の話を聞き、それを起点に様々な分野の方がディスカッションする内容で良いか。</p> <p>《異議なし》</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>本日の委員会をもって任期中の委員会は最後となる。 最後に大山委員長と横山副委員長からご挨拶をいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大山委員長 あいさつ ○ 横山副委員長 あいさつ <p>5 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務局 委員へのお礼 <p>6 閉会</p>